

令和7事業年度事業報告書
(令和7年4月1日から令和8年3月31日)

1. 事業活動

(1) 公益目的事業

本事業については、放送大学学園への助成として2件22,000千円(表Ⅰ)、大学等の教育研究職員への助成18件21,627千円(表Ⅱ)、放送大学の学生に対する助成として17,000千円(表Ⅲ)、合計で前年度比9,060千円増の60,627千円の助成を実施した。
また、令和6年度事業のうち、進捗の遅れ、及び調査対象の拡大を図るため、事業実施期間の延長を行った事業が表Ⅳとなっている。

(単位:千円)			
助 成 項 目	令和7年度	令和6年度	対前年度比
放送大学学園への助成等(表Ⅰ)	22,000	15,000	7,000
大学等の教育研究職員への助成(表Ⅱ)	21,627	19,567	2,060
放送大学の学生に対する助成(表Ⅲ)	17,000	17,000	0
合 計	60,627	51,567	9,060

表Ⅰ 放送大学学園への助成等

1. 「次世代教育研究開発センター」における研究等事業 (1,200万円)

事業名	申請代表者
Ⅰ. リカレント教育拡充のためのプラットフォームの整備 (3ヶ年計画の2年目 令和6年度～8年度)	芝崎 順司 (次世代教育研究開発センター長)
Ⅱ. 放送大学の教育実践・蓄積を進化させた遠隔高等教育標準 (OUJモデル)の開発 (3ヶ年計画の2年目 令和6年度～8年度)	
Ⅲ. 高等学校との連携における先取り学習の拡充可能性についての研究 (令和7年度)	
Ⅳ. 放送大学の障害学生支援体制の整備と強化 (令和7年度)	

2. 放送大学チャレンジ募金への寄付(1,000万円)

放送大学チャレンジ募金において実施する事業のうち、以下のいずれかの研究等の実施に使用。

- ◆ 研究機能の整備
 - ・ 放送・通信の技術革新に応じた教育コンテンツの開発
 - ・ メディア教育の研究開発機能の充実

表Ⅱ 大学等の教育研究職員への助成

(1) 教育内容、教育方法・教材、教育システム等に係る研究開発事業及び実践事業

事業名	申請代表者
大腸がん予防への理解促進を目的とした仮想空間技術（メタバース）活用の有効性と課題の分析	園井 教裕 （岡山大学助教）
文化遺産防災における国際的な研究事業のe-Learningシステム構築	金 度源 （立命館大学准教授）
遠隔・非同期環境の建築教育における模型の3Dスキャンを活用した双方向型学習環境の構築と教育効果の検証	増田 忠史 （愛知産業大学准教授）
オンラインで自学自習が可能な、生成AIによるティーチングアシスタントシステム	鈴木 知真 （神山まるごと高等専門学校助教）
深い学びと理解度に基づく個別最適化学習支援のためのAIエージェントと可視化ダッシュボードの開発	大野 麻子 （神戸大学准教授）
看護DX教育を推進するデータ駆動型オンライン教育システムの開発	間辺 広樹 （四天王寺大学教授）
初級プログラミング教育向けデジタル教材の開発と実践	森本 容介 （放送大学教授）
Webコンテンツの記述や処理に関する学習アプリケーションの拡張と教材制作	伊藤 一成 （青山学院大学教授）
実習型遠隔授業のためのホログラフィック模擬体の作製および双方向通信システムの構築	茨田 大輔 （宇都宮大学准教授）
3D画像を応用したCross Reality(XR)教材は、歯学部学生の歯科疾患の理解に役立つか？～XRの教育効果について、ランダム化比較試験～	横井 彩 （岡山大学助教）
助産師向け応用教育のためのオンライン教材の研究開発【無痛分娩に求められる助産技術-2-回旋異常時の用手回施術】	田辺 けい子 （神奈川県立保健福祉大学准教授）
シラバスデータと振り返りの記述を利用した過去・現在・未来の学びの関連性可視化システムの開発	高木 正則 （電気通信大学准教授）
実践的課題解決能力を育成するための遠隔グループ型PBLの研究開発	櫻井 亮 （東京情報デザイン専門職大学准教授）
行動科学の知識と思考力を同時に育むオンラインアクティブラーニング	青木 俊太郎 （福島県立医科大学助教）
生成AIを活用したオンライン学習環境での学習支援と評価法の開発に関する基礎的研究	中山 実 （明治大学特任教授）

(2) 国外の教育研究機関等への普及・協力に係る事業及び国際的な交流に係る事業

事業名	申請代表者
XR・メタバースで世界をつなぐHyFlex Virtual Exchange(VE)の質的拡大と効果測定の探索	林 雅子 （東北大学准教授）

(3) 教育の普及・振興事業及び教育を担う人材育成に寄与する事業

事業名	申請代表者
オンデマンド講義と対面講義を併用したリカレント教育におけるラーニングファシリテーター人材を用いた学習支援と人材育成方法の探索と構築	種村 剛 （北海道大学特任教授）
電子回路を伴うマイコン・システムのプログラミングを学ぶオンライン授業の開発	野村 厚志 （山口大学教授）

表Ⅲ 放送大学の学生に対する助成

① 学生団体活動支援事業
サークル情報誌の印刷経費、通信費（切手、ハガキ購入等）、学習教材等の購入に係る費用の補助
② 放送大学が放送大学同窓会連合会と連携して行う事業
入学・卒業時支援：体験談話等講話、学生相談会、学位記授与式、卒業・修了祝賀会、オープンキャンパス等での入学・学習相談会等
在学生支援：学生生活相談・学習相談会、就職相談活動、学生サークル・学園祭等
生涯学習支援：学習センターと連携して行う公開講演会等
③ 学生厚生イベント支援事業
各学習センターにおいて実施する学生研修旅行のほか、学園祭（DX技術の進展により可能となったオンライン・バーチャル学園祭（肢体不自由者等も参加可能）等の学生の厚生イベントを支援する事業を実施

表Ⅳ 研究開発助成等 事業計画延長分【令和6年度助成（令和5年度助成分を含む）】

(1) 令和5年度から令和7年度に実施期間が延長された事業

事業名	申請代表者
<学習教育戦略研究所> 学習教育戦略研究所におけるAIトランスフォーメーション研究の推進 （次世代教育研究開発センターに引き継がれた） Ⅰ．AIトランスフォーメーション研究会 ① AIトランスフォーメーション研究会の実施 Ⅱ．各分野における調査・研究開発 【学習サポート】 ② 学生サポートとしてのAIChatボットの試行的導入と印象評価 ③ 履修科目リコメンデーション機能の開発 ④ デジタルラーニングスペースの構築とモニターによる実施計画 【教材制作】 ⑤ AI生成映像と手作業制作映像の時間・費用対効果と印象調査 ⑥ AI活用による学習の事例調査と試行実践 【評価】 ⑦ Web単位認定試験へのAI活用の調査 【業務改善】 ⑧ AI活用による業務改善の事例調査と試行実践	近藤 智嗣 （放送大学副学長）

(2) 令和6年度から令和7年度に実施期間が延長された事業

事業名	申請代表者
大学等における放送、インターネット等を利用した教育を担う人材育成を活性化するデジタルクレデンシャルレジストリの構築事業	青木 久美子 （放送大学教授）
Metaverseを用いた高等教育のためのAIリテラシー教材制作と遠隔授業方法の開発	加納 寛子 （山形大学准教授）